

2 東部住区

1) 基本的な考え方

東部住区は、玉川上水や牟礼の里をはじめとする現存する緑や周辺の農地の保全と、それらの資源を活かした景観づくりを図るとともに、良好な環境の整備、団地の建替え等に伴う周辺環境整備など、それぞれの土地利用の形態と特性にあわせてまちづくりを推進します。また、緑の保全と周辺の住宅地環境の向上など、市のまちづくりとの連動を図り、交差点改良や歩行空間の確保により、地域の交通環境の改善を図ります。

三鷹中央防災公園・元気創造プラザ整備事業では、防災の拠点や多様な機能が融合した元気創造拠点として整備を推進します。あわせて、市民センターエリア、農業公園、仙川公園、丸池公園及び新川天神山青少年広場から仙川下流までの連続した大きな緑と水のつながりを「緑と水の連続空間」として総合的なまちづくりを推進します。

東八道路沿道では、三鷹市に相応しいまちづくりの観点から、沿道周辺の住環境や現存する農地との調和を図ります。

また、東京外かく環状道路の整備に伴い、周辺を含めて新たなふれあいの里として「北野の里（仮称）」を位置づけ、農地や公園整備などの緑空間を創出する取り組みを進めるよう、国や東京都に働きかけます。

2) 主な事業の方向

- 1 北野小学校（体育館）、第六中学校（体育館）の耐震補強工事を実施し、防災拠点化を推進するとともに、高山小学校の学級数増加に対する必要な対応を図ります。
- 2 都市計画道路3・4・13号（人見街道～連雀通り）の整備を進めるとともに、バリアフリーのまちづくり基本構想2022の重点整備路線である都道（連雀通り、吉祥寺通り、人見街道など）については安全で快適な歩行者空間が整備されるよう都に要請します。
- 3 東京外かく環状道路の事業においては、中央ジャンクション（仮称）蓋かけ上部の整備や、周辺の都市計画道路の整備など、国・東京都が示した「対応の方針」が確実に実施されるように強く要望していきます。また、工事期間中の交通安全対策及び防犯対策等を話し合う「外環整備に伴う安全・安心のまちづくり連絡協議会」を地元住民との協働で運営し、地域の安全・安心のまちづくりに取り組みます。多岐にわたる課題について、柔軟に対応できるよう助言者会議等で検討を行うとともに、市民生活への影響に関すること等を三鷹市独自の視点で検討し、外環事業が適切に進捗していくよう国等に要望していきます。
- 4 緑と水の回遊ルートの拠点である牟礼の里を中心に、「農のある風景」を保全し、地域特性を活かした景観づくりを誘導します。北野ハピネスセンター周辺については、農の風景を象徴するけやき並木や屋敷林などの三鷹の原風景を保全するため、当該地域の道路等をモデル事業として位置付けて取り組みを進めます。
- 5 東八道路沿道については、地区計画制度の導入等を検討しながら、産業の振興と周辺環境との調和を図っていきます。
- 6 玉川上水、牟礼の里、北野の里（仮称）については、重点的に景観づくりを行う区域として、整備・誘導のあり方について検討し、良好な環境の保全を図ります。
- 7 史跡に指定された玉川上水については、兩岸の緑地を自然資源として保全を東京都に要請していきます。
- 8 牟礼団地の建替えに伴いUR都市機構が東西道路の整備を行いました。都市計画道路3・4・13号（牟礼地区）の事業進捗にあわせ、市道第47号線（牟礼地区）の整備を進め東西道路の誘導を図ります。
- 9 牟礼・三鷹台団地周辺子育て支援施設等の整備・再配置を進め、保育園の統合や地区公会堂、災害対策用備蓄倉庫の整備を図ります。

2 東部住区

凡例

- 平成 26 年度までに完了
- - - - - 平成 27 年度以降に実施
- まちづくりの主な取り組み事例
- コミュニティ住区界
- - - - - 三鷹市界
- ⊗ 学校



※まちづくりの主な取り組み事例の範囲等は、おおよそのイメージです。